

Ⅱ

対中関係

一 開戦直後の対中関係（租界接収を含む）

57 昭和16年12月8日

在中国日高代理大使より
東郷外務大臣宛（電報）

汪兆銘に対し開戦の通告及び南京国民政府不
参戦等を要望について

南京 12月8日後発
本省 12月8日夜着

第八六八號（至急、極秘、館長符號扱）

⁽¹⁾ 八日午前七時總軍司令官汪主席ノ來訪ヲ求メ總參謀長、影
佐顧問列席ノ上ニテ日本ト英米トノ關係ハ交戰狀態ニ立至
レル事實ヲ告ケ此ノ事態ニ於テモ帝國政府ノ國民政府強化
ニ關スル態度ハ不變ナルニ付難局ニ處シテ一致協力セラレ
タキ旨語リタル趣ナリ

次テ本官汪主席ヲ往訪シ交戰狀態ニ入レル旨ノ事實ヲ通告
スルト共ニ今日迄交渉ヲ重ネテ帝國カ平和裡ニ太平洋ノ諸
問題ヲ解決セントスル努力ヲ續ケ來リタル經過及帝國ヲ中
心トスル國際關係ヲ略述シ次テ國民政府ニ對スル帝國ノ態

度ハ不變ニシテ全體和平ヲ招來シ事變ヲ處理スル政策ニハ
何等變更ナキ旨ヲ告ケ今後兩國ノ關係ハ益々緊密ナル協力
ヲ必要トスル處帝國政府ハ出來得ル限り實質上形式上國民
政府ノ立場ヲ考慮シ措置スル意嚮ナルニ付安心セラレタク
又具體的ノ執ルヘキ措置ニ關シ本官ハ更メテ打合ス事ト致
度シト述ヘ差當リノ要望トシテハ

⁽²⁾ 一、國民政府ハ參戰セサルコト

二、汪主席ヨリ國民政府ノ立場ヲ明カニシ人心動搖ヲ防止シ
更ニ進テ民心把握ノ爲ニ必要ナル聲明ヲ發セラレタク
三、外交部長聲明トシテ國民政府治下ノ英米領事ノ職務執行
ヲ否認スル旨聲明スルコト望マシ

ト述ヘタリ

右ニ對シ主席ハ極メテ落付キタル自信アル態度ヲ以テ不取
敢本日直ニ中央政治委員會ヲ召集シ國民政府ノ採ルヘキ態
度ニ付授[○]權ヲ得タル上直ニ御希望ノ措置ヲ講スヘク聲明ノ
内容ハ英、米カ東亞新秩序建設ヲ否認シ日支兩國ノ存在ヲ

脅サントスル態度ヲ續ケテ日本政府ノ今日迄ノ平和的解決ノ努力モ報ヒラレサリシ點ニ重點ヲ置キ其ノ他帝國政府ノ宣言ヲ參照シ之ニ呼應スヘク次テ各地方ノ軍政各官ヲ召集シ政府ノ態度ヲ闡明スヘシト述ヘタリ

在支各總領事、滿、北大へ轉電セリ
北(總)ヨリ北大へ轉報アリタシ
北(總)ヨリ太原へ轉電アリタシ

~~~~~

58 昭和16年12月8日 在上海堀内総領事より  
東郷外務大臣宛(電報)

仏伊兩國に対し日本軍の上海共同租界進駐等  
につき通告

上海 12月8日前発  
本省 12月8日前着

第二二三三號(大急)

往電第二二三一號ニ關シ

時局電報第二報

七時三〇分(日本時間)本官陸海軍參謀帶同工部局ニ幹部ヲ曾禰ハ陸軍參謀ヲ帶同シ佛總領事ヲ、陸軍渉外部長宇山ト

同行伊太利軍指揮官ヲ夫々往訪シ豫定ノ通告並ニ交渉ヲ開始セリ

一、「フランス」側ハ正服憲兵ノ進駐ニ同意シ且協力ヲ約セリ敵國人及敵産關係ニ付テハ時宜ニ應シ「フランス」側又ハ日本憲兵ニ於テ處理ス

ニ伊國軍ハ日本軍力如何ナル措置ヲ執ルトモ之ヲ支持協力スヘキ旨約セリ

本電冒頭往電ト共ニ南京(大)、漢口、北京(大)、天津、廣東へ轉電セリ

~~~~~

59 昭和16年12月8日 在上海堀内総領事より
東郷外務大臣宛(電報)

開戦に伴う工部局首脳との会談内容につき報告

上海 12月8日前発
本省 12月8日前着

第二二三四號(大至急)

往電第二二三三號ニ關シ

本官工部局主腦部トノ會談ノ結果先方ヨリ我方ノ執ルヘキ措置ニ付種々質問アリタルカ結局工部局主腦部ハ何レモ個

人トシテハ相當協力ノ意思強キモ英國總領事ヨリ「日本軍ノ進駐カ軍事占領ナラサル限り工部局主腦トシテ活動ヲ繼續セラレタシ」トノ申渡シアルニ依リ本國官邊ヨリ協力停止ノ命令アル場合ニハ協力出來サルモ之ナキ限り可及的平常通り機能ヲ繼續スルコトト致スヘシトノコトニ落着キタリ

當方トシテハ占領ナリヤ否ヤノ點ヲ「ハツキリ」スルコトナク既定ノ計畫ヲ實行シ行ク考ナリ
南總（外信）へ轉電セリ

~~~~~

60 昭和16年12月8日 在上海堀内総領事より  
東郷外務大臣宛（電報）

日本軍の上海共同租界進駐に伴う諸措置につ  
き工部局との協議について

上海 12月8日午前  
本省 12月8日後着

第二二三五號（大至急）

往電第二二三一號ニ關シ

工部局ニ對スル申入ハ進駐ニ關スル我方ノ眞意ヲ説明シ一

般市民竝ニ工部局員ニ對シ我方ノ眞意傳達方ヲ要請スルト共ニ公共事業會社主腦部ニ對シ緊急協力方工部局ヨリ申入レシメ且ツ不取敢三日間ノ「モラトリウム」及取引所立合停止竝ニ軍需物資運搬制限等ヲ實施セシムルヲ差當リノ目的トセル處先方ハ「モラトリウム」ニ付テハ金銀其ノ他是非共必要ナル現金ノ引出ハ認メラレタク其ノ限度ハ直ニ専門家ト協議ノ上連絡致スヘキニ付不取敢今後何等ノ通知アル迄ハ銀行ヲ閉鎖スル様措置スヘク又交通運搬制限等ニ關シ細カキ質問ノ後人心安定ノ爲ニハ急遽措置致度シトテ直ニ不取敢『工部局ニ本官以下來訪シ申入ノ次第モアリ工部局ハ現狀通り機能ヲ繼續スルコトナリタル』趣ヲ以テ一般市民ニ協力方ヲ要求シ且ツ銀行ノ閉鎖交通制限等ヲ實施スル旨工部局ヨリ「ラヂオ」ニテ放送開始方約セリ  
尙目下ノ處重要設備等ノ保全ハ心配ナク「バス」電話等公共事業ハ略々平常通り運行中ナリ（進駐前）  
南大へ轉電セリ

~~~~~

61 昭和16年12月8日 在上海堀内総領事より
東郷外務大臣宛(電報)

日本軍の上海共同租界への進駐状況につき報告

上海 12月8日後発
本省 12月8日夜着

第二二四一號

往電第二二三三號ニ關シ

八日午前十一時(日本時間)陸海軍部隊ハ夫々共同租界C區
B區ニ進駐ヲ開始シ豫定ノ如ク平穩裡ニ重要施設、敵性銀
行、敵性通信、報道機關等ノ押收、乃至ハ警戒ノ措置ヲ採
リ午後三時頃ヨリ通行禁止ヲ緩和セルカ市面平靜電氣電燈
瓦斯水道電話モ平常ノ通り「ラジオ」ハ敵性ヲ除キ放送繼
續上海「タイムス」ハ唯一英字紙トシテタ刊號外ヲ出サシ
メタリ

冒頭往電通り轉電セリ

~~~~~

62 昭和16年12月9日 在中国日高代理大使より  
東郷外務大臣宛(電報)

差当り不参戦の旨を南京国民政府決定について

南京 12月9日後発  
本省 12月9日夜着

第七四號(館長符號扱)

貴電合第二四九五號ニ關シ

八日汪主席ハ中央政治委員會ニ於テ事態ヲ説明シ國民政府  
ハ差當り参戦セサルコトニ決定セリ尙聲明書ハ右ノ趣旨ヲ  
モ含ンテ起草セラレ居ル次第ナリ

滿大、北大、上海、天津、青島、漢口、廣東ニ轉電セリ

北大ヨリ張家口及大原<sup>(天カ)</sup>へ、青島ヨリ濟南へ、廣東ヨリ厦門

へ連絡アリタシ

~~~~~

63 昭和16年12月9日 在北京土田参事官より
東郷外務大臣宛(電報)

在中国仏国大使の北支方面軍司令官への表敬

模様について

北京 12月9日後発
本省 12月9日夜着

第七八三號(館長符號扱)

往電第七七八號ノ一二關シ

八日佛國大使ヨリ當地在住檣橋辯護士ヲ通シ表敬ノ爲岡村司令官訪問幹旋方本官ニ依頼アリ佛印共同防衛協定成立迄ハ兎角重慶ヲ振廻シ勝チニテ軍方面ニ挨拶ニ行ク等思ヒモ寄ラサリシ同大使ノ自發的申出ナルニ鑑ミ早速司令部ト打合せ九日本官檣橋ト共ニ案内司令官ヲ往訪セシメタリ司令部主腦部列席ノ席上同大使ヨリ全在支佛官憲ニ對シ日本ニ全面的協力方嚴重訓電濟ナルコトヲ披露スルト共ニ中立國大使トシテ御役ニ立ツコトアラハ軍方面ニ於テモ何ナリト利用アリタキ旨積極的心境ヲ披瀝シ極メテ友好裡ニ歡談セルカ司令官ニ於テモ本會見ニ多大ノ満足ヲ表シ居タリ南大、上海、天津、漢口、廣東へ轉電セリ

64

昭和16年12月9日
在広東高津（富雄）総領事より
東郷外務大臣宛（電報）

汪兆銘より広東各機関に対し開戦後の日中協

調の訓令を發出させるよう要請

広 東 12月9日後発
本 省 12月9日夜着

第五三一號

本官發南大宛電報
第二三四號

今次開戦ハ當地支那側ニ多大ノ反響ヲ與ヘ當局者ハ我方ト生死ヲ共ニセントノ覺悟ナルモ一部ハ日本ハ英米ニ太刀打出來サルヘシトノ氣持チ拔ケ切ラサルヲ以テ我方指導ノ下ニ十二日ヲ期シ占領地下ノ各縣長ヲ召集シ省主席ヲシテ人心安定及日本信賴觀ノ助長方鼓吹セシムルト共ニ軍側係官モ出席ノ上適宜指導スルコトナリ居ル處人心ノ安定ハ極メテ肝要ナルニ付汪主席ヨリ此際當地各機關ニ對シ日支協調ノ力強キ訓電方御配慮相煩度シ大臣へ轉電セリ

65

昭和16年12月10日
在中国日高代理大使より
東郷外務大臣宛（電報）

開戦に対する南京国民政府及び中国世論の反

応につき報告

南 京 12月10日後発
本 省 12月10日夜着

第八七九號

帝國ノ對英米開戰ニ對スル支那側反響トシテ差當リ看取セラルル所左ノ通

一、汪主席ハ開戰通報ノ直後ニ中央政治委員會ニ於テ日本トノ提携ヲ一層緊密ニスヘキ所信ヲ披瀝シ委員一同ニ多大ノ感銘ヲ與ヘ斯ル主席ノ態度ハ政府首腦部ノ間ニ深刻ニ反響セラレ何レモ日本側ニ對シ全面的ニ協力スル決意ヲ示シ居レリ

二、一般支那人ハ日本ノ對米開戰ニ依リ深刻ナル印象ヲ受ケ其ノ後ノ電擊戰果ノ報道ハ寧ロ豫想セサリシモノノ如シ市中揭示新聞ニモ多數群衆ヲ見ル狀況ニテ目下何等動搖ノ色無シ

但シ支那人間ニハ豫々日米相戰ハバ結局ハ米ノ勝利トナルヘシトノ通念鮮カラサルモノアルヲ以テ今後ノ動向ハ將來ノ戰況ニ支配サルル所鮮カラサルヘシ尙國府宣傳部ハ輿論啓發指導ニ付全面的ニ我方ニ協力ノ意嚮ヲ示シ新聞檢閲制度ヲ設ケ日本ニ不利ナル報道等ヲ取締ルト共ニ特ニ論說指導ヲ強化スルコトトセリ

三、我方ノ香港攻撃ハ失地回復ノ感モ手傳ヒ一般ニ極メテ注意セラレ居ル處官吏要人ノ中ニハ家族親戚等ヲ同地ニ殘

留セシメ居ルモノ亦鮮カラスアリ個人的ニハ心配シ居ル者アリ

四、經濟界方面ニ於テハ法幣ノ將來乃至物價ノ將來等ノ見透シ付カス取引手控中ナルモ軍票相場ハ實需筋ノ少額取引ハレ開戰前ニ比シ強含ナリ中央儲備銀行ノ業務モ平常通りニテ異狀無シ

在支各總領事、滿大へ轉電セリ

~~~~~

66 昭和16年12月10日

在中国日高代理大使より  
東郷外務大臣宛(電報)

#### 開戰後における南京国民政府の対日協力措置

について

南京 12月10日後発

本省 12月10日夜着

第八八〇號

開戰直後汪主席ハ中央政治委員會ヲ召集シ國府首腦部ニ對シ日本ト協力ノ趣旨ヲ徹底セシメタルハ既報ノ通ナルカ其ノ後國府ノ執リタル主ナル措置左ノ通り

一、汪主席ハ各省主席特別市長及華北代表ヲ至急南京ニ參集

方訓令セルカ到着ノ上ハ齊シク參集者ニ對シ日本トノ協力ノ趣旨ヲ徹底セシムル筈

尙廣東省陳主席ハ出席不可能ニ付特ニ訓令ヲ發シタリ

二、目下戰略演習參加ノ爲各地支那軍首腦部來寧中ノ處此ノ機會ニ汪主席ヨリ右ト同趣旨ノ訓示ヲ與ヘタリ

三、新聞統制ニ關シテハ往電第三七三號ノ措置ヲ執リタル處更ニ宣傳部郭次長ヲ上海ニ駐在セシメ同地漢字新聞ノ指導統制ニ當ラシムルコトトシ且ツ宣傳部ニ新ニ情報室ヲ設ケ日華兩國ヲ積極的ニ匡救スルコトセリ

上大、北大、天津、青島、濟南、漢口、張家口ヘ轉電セリ

~~~~~

67 昭和16年12月10日 影佐（楨昭）少将
梅思平實業部長「」會談

南京国民政府の対日協力に関する影佐少将と

梅思平實業部長との會談

影佐少将梅部長會談要旨

十二月十日梅實業部長影佐少将ヲ訪問會談要旨左ノ通

(一)日米英開戦ニ依リ日本ハ國運ヲ賭シテ戰爭ヲシテ居ルカ之ハ獨リ日本ノ爲ノミナラス支那ノ爲テモアル、國民政

府トシテハ出來得ル限り日本ニ對シ援助ヲシナケレハナ

ラヌカ如何セン力カ足ラヌノテ充分思フ様ナ援助カ致シ兼ネルカ主トシテ物資ヲ以テ協力スルト云フノカ先ツ考

ヘラレルコトテアルト思フ、此ノ協力目的ヲ達成スル爲

ニハ國民政府トシテモ從來ノ考ヘ方竝ニ政策ニ修正ヲ加

ヘナケレハナラナイト考ヘル、其ノ第一ハ今迄ハ國民政

府トシテハ其ノ強化策トシテ民心ノ把握即民生第一主義

テアツタ、日本軍ハ戰爭遂行第一主義テアツタ、從テ國

民政府トシテハ戰爭ニ依ツテ日本カ獲得シタモノニ對シ

テ之ヲ國民政府ニ回收スルト云フ様ナ現象ヲ呈シテ居ツ

タ、斯ノ如キコトテ中日間ニ摩擦モ生シテ居ツタ次第テ

アルカ今後ハ國民政府トシテ日本ノ戰爭第一主義ニ協力

スルト云フコトカ必要タト思ツテ居ル

(二)今後特ニ物資ノ生産確保ヲ必要トスル次第テ、實業部ノ

關スル限りニ於テハ農產物竝ニ米及棉ノ増產ヲ計畫シナ

ケレハナラナイ

(三)消費ノ節約ニ付テハ從來稍々着眼力不足テアツタ様ニ思

フ

(イ)米ノ消費節約ニ關シテハ切符制ニ依リ配給ヲ最小限度

ニ對スル計畫ヲ立案シテ之ニ基イテ民衆指導ヲ行ハン
トシテ居ル

(ロ) 棉ハ事變ニ依ツテ三分ノ二ノ減產ヲ生シテ居ルニ拘ラ
ス消費ハ舊態依然タルモノカアルノテ此ノ節約ニ付テ
モ考慮ヲ要スル

(四) 工業ニ付テモ日本軍ノ計畫ヲ基礎ニシ、鑛山ノ開發ノ如
キモ軍需ヲ主トシテ之ニ應スル開發ヲ行ハナケレハナラ
ナイ

(伍) 民生方面ハ最少限度ニ節約スルヲ必要トスル

(六) 敵地ニ對スル經濟封鎖ハ從來統制ハ存在シテ居ルカ密輸
カ盛ニシテ經濟封鎖ノ目的ヲ達シナカツタ支那商人ノ言
ニ依レハ上海ヨリ和平地區ニ流入スル物資ヨリモ敵地ニ
流出スル數量ノ方カ多イト謂ハレテ居ル、而モ此ノ敵地
流出ヲ行フ商人ハ日支兩方ニ存在シテ居ル様ニ思ハレル、
今後此ノ點ニ關シテ日本軍ト協力シテ善處シナケレハナ
ラナイト思ツテ居ル

(七) 日本軍ニ對スル希望

(イ) 日本軍カ國民政府カ誠心誠意日本軍ノ戰爭態度ニ協力
スル誠意ヲ有スルコトヲ諒トセラレ充分之ヲ信用シ利

用セラレ度、例ヘハ日本軍ノ諸々ノ經濟計畫等ハ事軍
事ニ關シ機密ヲ要スルコトノ外ハ成ルヘク政府當局者
ニ肚ヲ打明ケテ諒解セシメラレ度(日本軍ノ米ノ所要
數量、買付時ニ於テ遭遇スル困難ノ何處ニ存在シテ居
ルカ又ハ幾許量ヲ日本内地ニ送ルカト云フ様ナコト等
テアル)從來日本側ハ支那ニ打明ケナイ、支那ハ日本
ニ懷疑的テアル、兩者ノ間如何ニモ溝カアル様ニ思ハ
レタ

(ロ) 國民政府カ力カナイカラト云フ理由テ專任ヲ負ハサレ
ナイノハ一理アルト思フカ如上ノ如ク國民政府ハ日本
ト利害休戚ヲ共ニシタイト考ヘテ居ルノテアルカラ政
府ニモ責任ヲ負ハシテ日本ニ協力セシメル様ニ致サレ
度

(ハ) 經濟活動ニ付テハ中國實業界ノモノヲ參加サセル様ニ
御配慮ヲ願ヒ度從來日本タケノ實業家カ參劃シテ支那
側ハ袖手傍觀スルノ外ナキコトモ尠クナイ、上海ノ解
決ニ依ツテ攪亂分子ハ除去セラルルコトトナツタノテ
力アル實業界ノモノハ吾々ノ經濟活動ニ貢獻シ得ル情
勢ヲ招來スルコトトナツタカラ之等ヲ活用スルト云フ

コトカ必要テアリ可能テアリ之ハ支那ノ爲ノミテナク
日本戦争遂行ノ爲ニモ肝要ノコトト思ツテ居ル
以上ハ原則ノミヲ申シタノテアリ其ノ具体的内容ノ一部テ
アル米ノ増産、農事改良等ノ計畫ハ近ク完成スルコトナ
ツテ居ル

68

昭和16年12月10日

在広東高津総領事より
東郷外務大臣宛（電報）

香港進駐後の善後措置要領について

広東 12月10日後発

本省 12月10日夜着

第五四〇號（機密、館長符號扱）

南支軍ト第二遣支艦隊兩司令官協定ニ基ク香港攻略後ノ善
後措置要領大略左ノ通り

軍政ヲ布キ先ツ治安ヲ恢復シ我軍事基地タラシムルト共ニ
重慶政權覆滅ノ爲ノ政治的謀略的基地トシ特ニ華僑及重慶
側要人誘致竝ニ之カ安住ヲ第一義的ニ施策シ南方ニ對スル
經濟的政治的基地タラシムル爲ノ本格的施政ハ第二義的ニ
考慮シ行政機構トシテハ南支軍司令部參謀副長總務部長ト

ナリ民政、經濟、報道、法務、保安ノ各部ヲ設ケ部長ハ少
將或ハ大佐級ヲ以テ充當ス右軍政要綱空送ス

69

昭和16年12月11日

在上海堀内総領事より
東郷外務大臣宛（電報）

日本軍の共同租界進駐に対する上海居住民の

反応について

上海 12月11日後発

本省 12月11日夜着

第二二六七號

當地日本軍租界進駐ハ「ベテレル」號撃沈事件發生セルニ
拘ハラス總テ計畫通り行ハレ租界内居住外支人ハ孰レモ我
軍ノ進駐カ平穩裡ニ行ハレタルコト及我方措置ノ意外ニ寛
大ナリシコトヲ喜ヒ居リ人心大體安定シ居リ軍側ニ於テモ
人心小康ヲ得タル後開始スルコトト豫定シ居リタル租界内
押收倉庫ノ物資調査ヲ本十一日開始セリ

南大、漢口、北大、天津、青島、厦門ハ轉電セリ

70 昭和16年12月11日

在天津加藤(三郎)総領事より
東郷外務大臣宛(電報)

天津英国租界接收後の行政機構について

天津 12月11日前発
本省 12月11日前着

第四一一號(至急、極秘、館長符號扱)

今般軍ハ進駐後ノ英租界ノ「行政ヲ統監」スルコトナリ
タルカ現在ノ行政機構ハ努メテ現状ヲ繼承シ運用ノ圓滑ヲ
圖ル方針ニテ英人參事會長、工部局書記長及警務處長以下
英人現要員モ其ノ儘職務ヲ執行セシムルコトトシ唯工部局
ノ上層部ニ政務局(局長當地師團參謀長)ヲ設ケ(兩宮機關
長及白井民團長及本官ヲ顧問トシ)工部局ノ行政一般ヲ監
督指導シ又工部局ニ日本人最高顧問ヲ設ケ當地民團宮家助
役ヲ又工部局警務處最高顧問ニハ當地憲兵隊特高課長ヲ夫々
現職ノ儘配スルコトナリ前記宮家ハ九日ヨリ工部局ニ於
テ事務ヲ開始シ居レリ尤モ工部局要員ノ一部ハ抑留其ノ他
ハ交通制限等ノ爲巡補ヲ除キ大半ハ缺勤中ノ爲軍進駐以後
未タ實際ノ事務ハ休止ノ狀態ナルカ我方ニ於テハ逐次之等
ノ抑留及交通制限ヲ解除シ努メテ出勤執務ヲ督勵シ居ルヲ

以テ茲數日中ニハ常態ニ復スルモノト認メラレ尙前記英人
首腦要員ハ何レモ喜ンテ要務ヲ續行スル意嚮ヲ表明シ居リ
從テ其ノ他ノ支那人要員モ大體從來同様執務ヲ續クヘク現
ニ巡補約七百名ハ殆ト全部引續キ勤務シ居リ工部局内一般
ニ左シタル動搖無キモノノ如シ
南大、北大、上海へ轉電セリ



71 昭和16年12月12日

影佐少將
汪兆銘主席 會談

南京国民政府の対日協力の進め方に関する汪

兆銘談話について

汪主席影佐少將會談要旨

十二月十二日汪主席ハ影佐少將ニ左ノ如ク語レリ
十三日各地方長官ノ會議ヲ開催シ日本ノ戰爭ニ對スル國
民政府ノ態度ニ付訓示スル筈テアルカ一般民衆ノ抱イテ
居ル疑問ハ二點アル。第一ハ戰爭長期ニ亘レハ漸次日本
ノ不利ニナルテアラウ、第二ハ日本カ戰爭ニ勝利ヲ占メ
タ曉ニハ支那ハ日本ノ軍事管理能力永久ニ續クノテハアル
マイカト云フノテアルカ此ノ點ニ重點ヲ置イテ彼等ノ納

得セシメル積リテ居ル十一日褚民誼、陳公博等主要幹部ヲ參集シ相談シタカ之等幹部ノ異口同音ニ要望シテ居ルコトハ右ノ疑問ノ中、第一ノ疑問ハ打破スルニ容易テアルケレ共第二ノ疑問ヲ打破スルニ付テハ日本ニ相當考慮シテ貫ハナケレハナラナイ事モアルノテアルカ今之ヲ日本ニ要望スルト云フコトハ如何ニモ時期トシテ適當テナイ、日本カ戰爭テ非常ニ苦勞シテ居ルノニ、其ノ機會ニ乘シテ要求ヲ出シタト云フ様ナ形ニナツテ寔ニ吾々ノ本意ニ反スルコトニナル、從ツテ汪主席本人トシテハ日本ノ戰爭カ有利ニ進展ヲシテモウ大丈夫ト云フ機會ヲ見計ツテ

(一)日本ハ國民政府ニ如何ナルコトヲ要求セラルルカヲ尋ネ極力其ノ通りニ實行スルコト

(二)前記第二ノ疑問ヲ打破スル爲ニ必要ナル要望ヲ日本側ノ考ヲ促スコト

ト言フコトニスレハ宜ロシイノテハナイカト言ツタトコロ幹部一同皆自分ノ說ニ贊成セリ



72 昭和16年12月12日

在天津加藤總領事より
東郷外務大臣宛（電報）

日本軍の英国租界進駐後における天津經濟状況につき報告

天津 12月12日後発
本省 12月13日前着

第四一四號（極秘）

往電第四一〇號ニ關シ

英租界進駐後ノ當地經濟狀況左ノ通り

(イ)金融市場

英米系四銀行ハ接收委員ニ依リ資産帳簿調査中ニテ差出シ擔保商品處分ハ影響甚大ナルニ付日本側ニテ適正價格ニ依リ買上方策ヲ考慮シ右引當資金トシテ聯銀ハ四千萬圓ヲ準備シ居ル由ナリ

重慶側三銀行及銀錢業公會モ聯銀ニ依リ帳簿等検査中其ノ他支那側銀行及銀號何レモ休業シ居タルカ十日午後ヨリ中國新華銀行等ヲ除キ一齊ニ營業再開シ撥嗎ノ決濟モ圓滑ニ行ハルルニ至レリ但シ外銀若クハ支那側銀行ニ法幣勘定ヲ有シ居タル銀號中ニハ倒産者相當生スヘキモ右

ハ却テ投機の不良銀號ノ整理ヲ促進スルコトナルヘシ
日華外金融ハ極メテ平穩ニテ日本側銀行ハ豫金拂出資金
ヲ準備シ居タルモ取付の引出シ全然無ク一般ノ取引停止
ニ依リ遊資増大モアリ預金却テ増加シ居レリ

(ロ) 物資及物價

舊英租界碼頭附近ノ英米系倉庫ハ軍ノ管理下ニ置カレ在
庫品ハ一應ノ調査完了迄所有者ノ國籍ヲ問ハス移動禁止
中日本側商品ハ興亞院指令ニ依リ輸出各組合トモ卸取引
ヲ停止シ居ルモ纖維製品ハ十一日一定條件ニテ賣買停止
解除セラレ其ノ他ノ部門モ漸次平常化スヘシ

麵粉ハ合議値二十圓ニ對シ一部少量ノケミ値二七圓程度
ニテ開戦前ニ比シ微騰セルモ新設ノ河北食料ヘイコー倉
庫ノ統制粉操作準備モ整ヒ居ルヲ以テ差當リ何等懸念無
シ雜穀、海產物、石油等一割程度ノ騰貴ヲ見タルモ砂糖
米等ハ保合不變ナリ

(ハ) 敵國人及中立國人取引

我軍管理下ニアル敵國商社ヲ除キ中小商業ハ概ネ營業繼
續シ居ルモ近ク敵國ノ參加登録ヲ待チ中立國人トノ取引
關係等判明スヘク又英國人取引取締令ニ依リ本邦人對敵

國人トノ債權、債務ノ整理等ハ當分一切差控ヘシメ居レ
リ

北大、南大、上海、青島、濟南へ轉電セリ

~~~~~

73 昭和16年12月12日

在上海堀内総領事より  
東郷外務大臣宛(電報)

日本軍進駐後における上海在住各界中国人の  
感想について

上海 12月12日後発  
本省 12月12日夜着

第二二八〇號

十一日WA情報

進駐後ニ於ケル當地各界華人ノ感想左ノ通り

一、工業界特ニ紡績業者ハ日本當局ノ商工業保護ハ豫想外ノ  
好現象トシテ喜ヒ居ルカ唯日本側カ現在迄ハ外人ノミヲ  
拘束シ居ルモ將來ハ佛印ノ例ト同シク華人ヲモ拘束スル  
ニ非サヤト多少危惧シ居リ又銀行倉庫食糧ノ封鎖ハ漸次  
上海ヲ死滅ニ陥ラシムヘシト憂慮シ居ル向モアリ

一、商業界ハ日和見ノ有様ニテ特ニ中小資本家ハ八日以來賣

上半減シタル爲戦争ノ延引カ營業ニ影響ヲ來スヘキヲ惧レ居ルモ他面日支和平カ早急實現セハ南洋ノ安定ト相俟チテ同地方華僑トノ取引旺盛ナルヘシト期待シ居レリ

一、抗日紙ハ豫テ日本戦ハスト信シ居リタル爲何レモ大打撃ヲ蒙リ狼狽ヲ極メ恐慌ノ體ニテ抗日ト英米ノ十字路ニ立チ身ノ振り方ニ迷ヒツツモ尙日本軍ノ際限無キ戦線擴大ト資源ノ缺乏ハ憂慮スヘキモノアリ其ノ自給力ノ如何ハ茲ニ週間ノ發展ニ依リ決セラルヘシ但シ日本敗戦センカ中國ハ永久ニ英米ノ手ニ落チ獨立ノ日無カルヘシ重慶ノ基礎ハ英米ノ上ニ築カレ居ル爲日支ノ全面的和平ハ短期間ニ招來セサルヘシト考ヘ居レリ

一、民衆ハ租界内ニ於ケル日本軍ノ行動ヲ目シ何レモ訓練アル軍隊ト稱讃シ抗日分子間ニテモ日本軍ハ規律嚴正ナルニ舌ヲ卷居レリ租界政治機構ニ付テハ一般ニハ八日以來日本領事館ニテ之ヲ指導シ居ルモノト信シ居ルカ其ノ方針力將來モ不變ナルニ於テハ必要ノ際ハ市民トシテ協力ヲ惜ムモノニ非ストナシ居レリ

南大、北大へ轉電セリ

74 昭和16年12月13日

在上海堀内総領事より  
東郷外務大臣宛（電報）

### 日本軍進駐後の上海における金融対策について

上海 12月13日後発

本省 12月13日後着

#### 第二二八二號

進駐後ノ當地金融對策左ノ通り

一、進駐ト同時ニ我軍ハ租界内敵性銀行（英米銀行及重慶四行）ヲ押收シ直ニ検査官ヲ派遣シ帳簿金庫等ノ検査ニ着手セルカ當日ハ爾餘ノ非敵性銀行（本邦銀行ヲ含ム）モ一般ニ自發的ニ營業ヲ停止セリ

二、翌九日非常措置トシテ工部局布告ニ依リ一般銀行（本邦銀行ヲ含ム）ニ對シ同日以降三日間營業停止ヲ命スルト共ニ民心及生活安定ノ見地ヨリ左記制限内ニテ預金ノ拂出シニ應セシムルコトニセリ

イ、個人拂出シハ一日一人五〇〇元  
ロ、勞賃拂出ハ一日一人當リ二〇元

尚非敵性華人銀行ハ親銀行タル英米及重慶四行ノ預金解除無キ限り右元本迄ノ支拂ニモ應シ得ストテ拂出シ額ヲ

三日間ニ夫々五〇〇元及二〇〇元ニ制限セラレタシトノ申出テアリタルニ依リ右制限方許可セリ

三、十二日以降非敵性銀行(本邦銀行ヲ含ム)ハ一般ニ營業ヲ認ムル豫定ナリシカ前記敵性銀行ノ調査完了セス從テ非敵性華人銀行ノ預金及貸出シ擔保件解除ニ關スル我方ノ對策決定シ得サル結果華人銀行側ヨリ一般業務再建ノ自信無シトノ申出アリ依テ前記ニ一般營業停止及制限附拂出シヲ更ニ三日間(十五日迄)延期スルコトトシ右ノ旨十三日工部局公示ヲ以テ示達セシメタリ

南大、漢口、北大、天津、青島、廣東へ轉電セリ

75 昭和16年12月13日 在上海堀内総領事より  
東郷外務大臣宛(電報)

### 日本軍による敵性物資の調査について

上海 12月13日午後  
本省 12月13日夜着

第二二八四號

軍ニ於テハ租界内外ノ敵性物資中軍需物資物動關係重要物資竝ニ重要民需物資ヲ我方ニ確保シ以テ我方ノ物資對策ニ

資スル爲租界進駐ト同時ニ調査班ヲ設ケ軍官民技能者百名ヲ動員シ敵國國有動產竝ニ敵國人所屬ノ倉庫、工場、事業場内ニ於ケル在庫品ノ調査ヲ爲スコトトシ十一日ヨリ調査ヲ開始セリ本調査ハ陸海軍ノ責任ニ於テ各警備地區内ヲ擔當シ(大體三日乃至五日間ニ完了ノ豫定)調査ノ結果ハ物資處理委員會ニ回附シ其ノ處分法ヲ決定スルコトトナリ居ルモ其ノ處理大綱左ノ通り

一、敵性公有財産ハ凡テ總軍ニ於テ押收ス但シ之カ使用乃至處分ニ關シテハ總司令官ノ認可ヲ要ス

二、敵性ノ私有財産中直接軍用ニ供シ得ルモノハ特ニ必要トスルトキニ限り押收ス但シ之カ處分乃至使用ニ關シテハ

前項ニ同シ

三、外交使節及關係職員所屬ノ財産ハ之ヲ押收セサルモノトス

尙佛租界地區ノ調査ハ第二次調査トシ關係機關ト協議ノ上追テ實施スルコトトセリ

南京(大)、北京(大)、天津へ轉電セリ

76

昭和16年12月14日

在中国日高代理大使より  
東郷外務大臣宛（電報）

南京国民政府の華僑工作促進のための具体的

措置に関する現地決定について

付記 昭和十六年十二月十三日

華僑工作を含む開戦後の諸情勢に関する日高  
公使と汪兆銘との会談記録

南京 12月14日後発  
本省 12月14日夜着

第八九二號

我カ南方征略ニ即應シ速ニ國府ヲシテ南洋華僑工作ヲ積極  
化セシムル要ヲ認メ本月十一日當館ニ於テ聯絡會議ヲ開キ  
（イ）支那側ヲシテ實際ニ右工作ヲ積極化シ得ル様僑務機構ヲ  
強化セシムルコト（ロ）之カ所要經費ノ支出方案出セシムルコ  
ト（ハ）右工作內容ニ關シ中央及現地ト打合ノ上「タイ」國ニ  
至急有力者ヲ派出セシメ同地華僑ノ和平工作ニ當ラシムル  
外中原報等重慶派華字紙ニ代ル新聞發刊其ノ他啓發一般華  
僑關係事務ニ従事セシムルコト及事態ノ進展ニ伴ヒ馬來比  
律賓等ニモ同様工作員ヲ派スルコトヲ協議決定シタルカ十

三日本使汪主席ニ會見ノ際右趣旨ヲ申入レタル處主席ニ於  
テモ進ンテ之等工作ニ乗出シ度キ意嚮ニテ經費ニ付テハ應  
分ノ支出ヲ爲ス用意アル旨申述ヘ居リタリ

本件ハ現地事情ニ呼應シ實行スルノ要アルヘキニ付右工作  
內容其ノ他右派遣ノ時期等ニ關シ御氣付ノ點現地側意嚮ト  
共ニ御回電相仰度シ以上ニ關シテハ何分ノ御來示アリ次第  
國府側ト具體的措置ヲ打合セ實行ニ移スコトト致スヘシ  
北大、上海、廣東、厦門ヘ轉電セリ

大臣ヨリ「タイ」、河内、西貢ヘ轉電アリタシ

（付記）

日高公使汪主席會談要録

昭和十六年十二月十三日午后四時至五時半

於 汪公館

一、對英米戰爭ニ關連スル一般情勢

公使ヨリ對米英宣戰布告以後ノ情勢即チ「ソ」聯ニ於テハ  
駐日大使カ客月二十八日中立嚴守方言明シタル處本月六日  
更ニ「モロトフ」ノ訓令ニ基キ東郷大臣ニ對シ改メテ右ヲ  
確約セル外戰爭勃發後モ右態度ヲ新聞ニ公表セルコト、伯

林ニ於テ日獨伊ノ協定成立シ獨伊兩國カ米英ニ宣戰セルコト、日泰間ニ攻守同盟締結ノ話合成リタルコト及日、佛印間ニ軍事協定成立セルコト等ヲ述ヘ日本カ米國ト開戰スルニ至ル迄ノ經緯ハ徐大使ヨリモ報告アリタルコトト察スルカ何分會談決裂ト同時ニ開戰ニ立到リシ爲メ會談經過ノ報告カ自然開戰ト同時ニ行ハルコトトナリタルハ遺憾ナル旨大臣ヨリモ申來リ居レルカ日本ノ對米回答ノ寫ハ外交部ニ送付シ置キタルヲ以テ閱覽セラレタルコトト信スト述ヘ次テ國民政府ニ於テハ主席ニ於テ逸早く日本ト協力スルノ方針ヲ一決シ臨時中央政治委員會ヲ開催シ主席聲明ヲ發出シ軍事當局者ニ對シテモ所要ノ訓示ヲ與ヘ尙本日ハ地方行政及軍事長官ヲ召集シテ政府ノ方針ヲ明示シ其ノ徹底ヲ期セラレタル趣ナルカ右主席ノ決意竝ニ國民政府ノ施策ニ付テハ隨時帝國政府ニ報告致ス心算ナリト述ヘタリ

## 二、地方行政及軍事長官會議ノ模様

主席ハ本日午前九時ヨリ開會ノ地方行政及軍事長官會議ハ北支ノ政務委員會代表朱深及漢口省政府主席何佩容及廣東省主席陳耀祖カ不參ナル外全部集合シ先ツ自分ヨリ一時間十五分ニ亘リ曩ニ日高公使及畑總軍司令官ヨリ説明アリタ

ル所ニ基キ日本カ米英ニ對シ宣戰ヲ布告セル經緯及臨時中央政治委員會ノ決議竝ニ主席聲明ノ内容ヲ敷衍説明シ政府ノ態度方針ヲ說示シ協力ヲ要請シ次テ約三時間ニ亘リ出席者ヨリ各地方狀況ノ報告アリ結局中央地方一体トナリ益々地方ノ治安ヲ確保シ軍事ヲ充實シ産業ヲ復興シ以テ日本ノ大東亞戰爭ニ協力スルコトヲ申合セ交通ノ許ス限リ速ニ歸任ノ上管下官民一般ニ之ヲ傳達シ其ノ徹底ヲ圖ルコトナレリ以上會議ノ内容ハ概略明日ノ新聞ニ發表セララル筈ナルカ發表以外ノ點ニテ特ニ内報シ置キタキ點下ノ如シ即チ同會議ニ出席セル者ノ内ニハ此ノ際支那トシテ如何ナル行動ニ出ツヘキヤト焦慮シ又ハ何等カ積極的ニ行動スル必要アルヘシトノ意見ヲ有スル者アリ彼等ハ彼ノ日露戰爭ノ當時ヲ回顧シ支那カ何等カノ形式ニテ戰爭ニ參加セサレハ他日戰果ニ付テ獲ルトコロナシト思惟シ居ル模様ナリ依ツテ自分ヨリ其ノ熱心ハ多トスルモ現在國民政府トシテ眞ニ日本ニ協力スルノ途ハ地方ノ治安ヲ確保シ軍事能力ヲ充實シ産業ヲ開發シ以テ實質的ニ日本ノ後援ヲ圖ルニアリ對米英宣戰ト云フカ如キ空論ヲ爲スヘキ秋ニアラスト説明シ置キタルカ過日王揖唐ヨリモ國民政府ノ宣戰ヲ慫慂シ來リシコ

トアリ之ニ對シテハ近ク來寧スヘキ朱深ニ篤ト説明スル所存ナリト述フ

三、香港陷落ニ對スル準備

主席ヨリ本日午后二時過接受シタル廣東省主席ヨリノ電報ニ依レハ廣東省ニ於テハ本日午前九時ヨリ矢崎特務機關長ト連絡ノ上縣長會議ヲ召集シ(一)日本ノ對米英戰爭ハ日支基本條約ニ何等影響ナキノミナラス太平洋ノ平和ヲ確保シタル後ハ一層強ク右條約ノ具現ヲ見ルニ至ルヘキコト(二)太平洋ノ戰爭ハ數日ニシテ至ク日本ノ勝利ニ歸シ勝敗ノ數既ニ明カナルコト(三)九龍ハ既ニ完全ニ占領セラレタルコトヲ報告シ廣東省トシテ執ルヘキ措置ニ付協議シタル趣ナルカ尙香港陷落後ハ之ヲ日本軍ノ管理ニ移シ九龍ハ特別區トシテ行政ヲ布ク豫定ナル由ニテ廣東省ニ於テハ香港陷落後(一)日本人及和平同志ノ救出(二)香港華僑トノ連絡(三)抗日份子ノ摘發ヲ爲スタメ機ヲ逸セス所定ノ人員ヲ派遣シ日本ト協力セシムル樣準備中ナル趣ナリト述ヘ尙國民政府ニ於テモ華僑工作ノ進展ニ備ヘ宣傳部ト僑務委員會トニ命シ華僑工作員ノ訓練ヲ開始スルコトトナレリト報告ス

公使ヨリ九龍占領ノ情況ヲ岡田參謀ヨリノ報告ニ基キ説明

ス

四、國民政府ノ對時局宣傳及華僑工作ニ付テ

公使ヨリ今次ノ戰爭ハ所謂大東亞戰爭ニシテ其ノ意義極メテ大ナルカ主席カ能ク其ノ意義ヲ闡明シ支那ノ採ルヘキ態度ニ付明確ナル方針ヲ決セラレ居ルハ多トスル處ニシテ冀クハ主席ノ右氣持ヲ官民上下一般ニ徹底スル樣取計ハレタシ之カ爲メニハ宣傳ヲ一層活潑ニスルコト然ルヘシ宣傳ニ付テハ固ヨリ日本側ト密接ニ連絡スルコト望マシキモ既ニ主席ノ聲明モ發出セラレタルコトナレハ其ノ筋ニテ遠慮ナク對内、對外特ニ華僑等ニ向ケ宣傳ニ力ヲ入ラルコト然ルヘシ例ヘハ主席ノ演說ヲ南洋華僑等ニ向テ放送スルコトモ考ヘラルヘシ一方東亞聯盟中國總會、中國國民黨ノ如キモ此ノ際東亞ノ解決、大亞洲主義ノ立場ニ於テ一大啓蒙運動ヲ起スコトモ有意義ナルヘク又重慶抗戰派ノ迷夢ヲ打破スル爲メノ宣傳工作モ必要ナリ此等ノ點ニ關シ國民政府側ニテ積極的ニ計劃ヲ立テラルレハ我方ハ軍側トモ相談シ出來得ル限りノ援助ヲ與フヘシ

華僑工作ニ付テハ從來其ノ環境困難ナル狀態ニアリタル一方政府ノ機關タル僑務委員會ノ活動モ不充分ナリシ憾アリ

然ルニ現在ハ全ク其ノ趣ヲ異ニシ香港ノ如キハ近ク陷落スヘク佛印、泰國等ニ於テハ既ニ公開のニ工作ヲ進メ得ル情態トナリ新嘉坡、比律賓ノ如キモ近キ將來華僑ニ手ヲ着ケ得ルニ至ルヘシ此ノ際政府ニ於テハ宜シク日本側ト協力シテ實行シ得ラルル方面ヨリ着々工作ヲ進ムヘキナリ最近西貢ニ於テハ二十萬ノ華僑カ國民政府擁護ノ聲明ヲ發シ二萬元ノ獻金ヲ發シタリトノ報アリ此ノ際工作員ノ派遣ハ固ヨリナルカ相當ノ地位ニ在ル代表者ヲ逐次各地方ニ派遣スルコト必要ナルヘシ斯クシテ華僑ニ對スル工作ハ重要トナリ其ノ範圍モ廣クナリタルニ付之ヲ處理スル機關ノ充實モ亦刻下ノ急務ナリト信ス工作員ノ訓練モサルコト乍ラ相當ノ名士ヲ派遣スルコトニ就テモ人選其ノ他ノ準備ヲ進ムルヲ可トスヘシ泰國ノ如キハ新聞事業又ハ學校ノ經營等早速着手スヘキ仕事アリ國民政府ニ於テ積極的のニ之カ準備ヲ進メラルルニ於テハ日本側モ喜ンテ援助スヘシト述ヘタルニ主席ハ且下宣傳部ト僑務委員會ト聯合シテ種々計劃中ナルカ要スレハ僑務委員會ノ改造モ行フ様考慮シ居レリト述フ

##### 五、大東亞戰爭ニ對應スル國民政府ノ新体制

公使ヨリ今次ノ大東亞戰爭ニ對處スル爲國民政府ハ其ノ施

策ニ重點主義ヲ採リ所謂新体制ヲ布クコト肝要ナルヘシ國民政府ノ日本ニ對スル協力ノ重點カ政府ノ強化、治安ノ確立、生産ノ擴充ニアリトセハ宜シク之ニ應スル体制ヲ整ヘ積極的のニ戰時計劃ヲ立テ日本ノ諒解協力ヲ得テ之カ實行ヲ圖ルヘシ之カ爲メニハ豫算其他ノ方面ニモ一大變改ヲ加フル必要モ生スヘキカ何レニスルモ新タニ東亞解放ノ爲メニ積極的のニ日本ト協調スルノ方針ノ下ニ重點主義ヲ採用シテ進マルルニ於テハ日本モ喜ンテ之ヲ援助スヘク是レ一面大東亞戰爭ノ勝利ヲ獲得シ一面新支那ノ建設ヲ促進スル所以ナリ即チ日支協同シテ米英ノ勢力ヲ驅逐スレハ國民政府ノ力ハ之ニ伴ヒ自然増大スル譯ナリ國民政府カカカル新体制ノ下ニ日本ト協力スルノ態度ヲ示スニ至ラハ日本ハ一層國民政府ノ立場ニ同情スルコトトナリ政府ノ爲メニモ好結果ヲ齎スモノト信スト述ヘタルニ主席ハ貴見誠ニ尤ナリ今次ノ戰爭ニ依リ南方ノ資源ヲ獲得シテ大東亞共榮圈ヲ建設シ得レハ吾々ノ勝利疑ナク且ツ戰爭力如何ニ長期ニ亘ルモ憂フル所ナシ之カ爲メニハ南洋六百萬ノ華僑カ日本ト合作スルヲ必要トスル次第ニシテ若シ之ニ成功セハ一大勢力ヲ形成シ得ヘシ國民政府トシテハ南洋華僑ヲ指導シテ日本ト合

作セシムルコトヲ重要國策ノ一トシタキ考ナリト述フ

六、上海ニ於ケル特務工作ニ就テ

公使ヨリ上海ニ於ケル日本軍ノ進駐ニ付テハ最初之ヲ危惧セル一般市民モ其ノ公正ニシテ合理的ナル態度ニハ痛ク敬服シ其ノ後ノ情勢極メテ平穩ナルカ日本軍ノ進駐ニ伴ヒ重慶側ノ「テロ」モ影ヲ潛メタリ從來ハ重慶ノ「テロ」ニ對シ之ヲ反撃スル爲國民政府ニ於テモ所謂特工ノ組織アリ一般ニ重慶ノ「テロ」カ撤退スルモ國民政府ノ機關力存在シテハ怖シト考フル實情ナリシカ此ノ際吳世保ノ逮捕令ノ出テタルコトハ國民政府カ不良份子ノ肅清ヲ圖リツツアル第一歩トシテ上海ノ明朗化ニ拍車ヲカケタルモノト信ス即チ新事態ニ即應シテ特工ノ方式ニ檢討ヲ加フル必要アル今日國民政府カ暴ヲ以テ暴ニ代ユルノ方針ニ依ラス德ヲ以テ暴ニ代ユルノ態度ヲ示シタルコトハ内外ニ極メテ好影響ヲ與ヘタルモノトシテ主席ノ英斷ヲ多トスルモノナリト述ヘタルニ主席ハ吳ハ既ニ逮捕セラレタル旨李士群ヨリ報告アリ目下日本憲兵隊ニ收容中ナルカ何レ支那側ニ引渡サレ處分スルコトトナルヘシト述フ

七、今後ノ對重慶工作ニ付テ

公使ヨリ日本ノ對英米宣戰ニ依ル重慶側ノ動向竝ニ今後ノ對策如何ト質問セルニ對シ主席ハ重慶ハ日米開戰ニ依リ英米ト共ニ日本ヲ攻撃スルヲ得ヘシト喜ヒ居ル模様ナルカ實ニ憤慨ニ堪ヘス蔣介石ノ如キハ曾テ英國ヲ以テ不俱戴天ノ敵ナリト叫ビシコトアルニ拘ラス今ヤ其ノ下ニ附キテ日本ニ刃迎フト云フカ如キ支那人トシテ此ノ上モナキ恥辱ナリ彼等ハ何レハ「ビルマ」ルートヲ切斷セラレテ目醒ルトキアルヘキモ斯クテハ既ニ遲シ最近モ當地ニ於ケル閻錫山、李品仙ノ代表等ニ對シテハ日對英米戰爭ノ終結ヲ待ツコトナク積極的ニ日本ノ大東亞戰爭ニ協力スヘキ旨懇々諭シ居ケリ

尙重慶方面ニ對シテハ出來得ル限りノ手ヲ盡シ其ノ轉向ヲ圖リタキ考ナルカ差當リ香港ニハ相當多數ノ要人アリ此等ヲ南京又ハ廣東等ニ呼ヒ和平運動ニ從事セシムルコト一法ナリト思惟シ居レリ之カ爲メニハ香港陷落ト共ニ國民政府ヨリ然ルヘキ者ヲ派遣シ之カ工作ニ當ラシメタシ孔祥熙夫人及子女等尙香港ニアラハ此等モ利用スル價值アルヘシ唯憎ミテモ餘リアルハ蔣介石ニシテ彼ハ「ビルマルート」ヲ脅カサルルトキハ十萬二十萬ノ軍ヲ英國指揮官ノ下ニ隸屬

セシメ英國軍ト聯合シテ日本ニ當ル計劃ヲ立テ居ル由ナリト述フ

77 昭和16年12月14日

在中國日高代理大使より  
東郷外務大臣宛(電報)

### 対日協力施策をめぐる南京国民政府内の動向

について

南京 12月14日後発

本省 12月14日夜着

第八九三號

國民政府ニ於テハ今次ノ大東亞戰爭ニ對シ日本側ヘ協力スル爲汪主席中心トナリ熱心ニ種々施策ヲ考究シ逐次之ヲ實施シツツアリ即チ

一、八日臨時中央政治委員會議開催及汪主席ノ聲明發表等ノ次第八既電ノ通ナルカ

二、九日午前直轄軍師團ノ參謀長及旅長以下各部隊長ヲ招集開催ノ戰略演習開幕式ニハ汪主席親シク出席シ前記中央政治委員會ニ於ケルト同様開戦ノ原因經緯及國民政府ノ協力態度ニ付主席聲明ノ趣旨ニ基キ説示スル處アリ又

三、十三日臨時地方長官及軍政長官會議ヲ開キ省市主席及各地方軍主腦部ヲ招集(何湖北省主席、朱深河北政務委員會代表ハ交通ノ關係上未着陳廣東省主席ハ香港問題ノ爲代表ヲ派遣)汪主席ヨリ今回ノ日本ノ對米英戰爭ハ三國間ノ單純ナル戰爭ニ非スシテ東亞解放ノ重大ナル意義ヲ有シ

若シ戰爭ノ結果日本滅亡セハ中華民國モ亡フモノナリ況ヤ開戦以來ノ經過ニ徴シ日本ノ勝利疑ナシトテ八日聲明ヲ敷衍シ國民政府今後ノ立場及採ルヘキ態度ヲ説示スル所アリ次テ各出席者ヨリ夫々地方狀況ヲ報告シタルカ出席者ハ直ニ歸任シ日本側ト協力シテ地方治安ノ確立ニ努力シ且右政府ノ方針ヲ地方官民ニ徹底セシムル様措置スヘキ旨決定セリ

四、尙汪主席ノ本使ニ對スル内話ニ依レハ十三日ノ會議ニ於テ一部ヨリ此ノ際中國ハ如何ナル行動ニ出ツヘキヤ或ハ日本ト同様米英ニ對シ宣戰スヘキニ非スヤトノ質問出テタルヲ以テ主席ハ現在國民政府トシテハ日本ニ協力スル方法ハ空虚ナル宣戰乃至主張ヲナスヨリモ地方治安ヲ確立シ軍事ヲ充實シ産業ヲ復興シ日本ニ必要ナル物資ヲ供

給スル等ノ實質的方面ニ力ヲ注クコト肝要ナル旨篤ト言  
ヒ含メ置キタルカ

③ 一方華北政務委員會委員長王揖唐ヨリモ過日國民政府ハ  
米英ニ對シ宣戰スヘキナリトノ意見ヲ電報シ來レル處右  
ニ對シテモ朱琛<sup>（案）</sup>到着ノ際前述ノ趣旨ニテ説明スル積リナ  
リトノコトナリ猶此ノ際華僑工作ニ備フ爲宣傳部及僑務  
委員會共同ニテ華僑工作員訓練班ヲ設ケ所要ノ派遣員ヲ  
養成スルコトナリ

六、<sup>（案）</sup>各民間團體ハ近ク聯合シテ（往電第八九二號參照）東亞民  
族解放國民大會ヲ開催スル豫定ニテ十五日準備會ヲ開催  
スル筈ナリ

興亞院へ轉報アリタシ最寄聯絡部へ通報アリタシ  
在支各總領事滿大へ轉電セリ

~~~~~

78 昭和16年12月21日 在中国日高代理大使より
東郷外務大臣宛（電報）

南京國民政府の參戰を差当り待機させるため
の説明振りにつき請訓

第九四七號（館長符號抜）

南京 12月21日後発
本省 12月21日夜着

二十日汪主席ハ影佐少將ニ對シ國民政府最高幹部内ニ於テ
ハ參戰熱頗ル旺盛トナリ來リ大使館ニ持出ス前ニ影佐ヲシ
テ日本側ノ意嚮ヲ打診セシメ來リタル處其ノ説ク所ハ（一）支
那ハ日本ト生死ヲ共ニセントスル態度ヲ表明シ居リ重慶ハ
既ニ獨伊ニ對シ宣戰ヲ布告シ居ルニ拘ラス南京カ宣戰セサ
ルハ極メテ意氣揚ラサルコトナリ（二）支那ハ自鬪力ハ不足
シ居ルモ參戰ニ依リテ國民ノ向フ所ヲ明カニスル必要アリ
現ニ實力ヲ何等セサル諸國カ米ト共ニ參戰シ居ル事例ア
リ尙日本ハ銃後ノ固ヲナス爲ニ支那ノ軍隊ヲ統一指揮セラ
ルル希望モアルラシク思ハルルモ之モ亦參戰ニ依レハ容
易ニ公然ト實行シ得ル所ナリ又今日支那カ參戰スルコトニ
依テ蘇聯ノ神經ヲ刺戟ストノ考ハ日米戰爭ノ既ニ開始セラ
レタル以上ハ多ク心配スル必要ナカルヘシト思考スト言フ
ニアリ要之國民政府ノ幹部連カ參戰ヲ決定スルコトハ支那
ノ向フ所ヲ指示シ國民ノ意氣ヲ揚クル上ニ於テ頗ル貢獻ス
ル所アルヘシト思考シ居ルハ事實ナルモ往電第九二一號ノ



79

昭和16年12月22日

在中国日高代理大使より
東郷外務大臣宛(電報)

香港進駐後における南京国民政府要人派遣に

関し汪兆銘より申入れについて

南京 12月22日後発

本省 12月22日夜着

第九五一號

汪首席ハ^(主)二十二日特ニ本使ニ面會ヲ求メ

(一)香港陥落後同地ニ於ケル國民政府關係者ノ救出、華僑ノ宣撫及重慶側要人ノ處分等ニ付日本側ニ協力スル爲廣東省政府ニ於テハ同地軍特務機關ノ要望ニ基キ高級者八名警察官五〇名ヲ同地ニ派遣スルコトナリ既ニ廣東ヲ出發シタル趣ナルカ本件工作ハ其ノ範圍廣汎ニシテ關係スル處複雑ナルニ付中央ノ問題トセラレ度キ旨同省主席ヨリ電請ノ次第アリ素ヨリ香港ハ英領ナルヲ以テ陥落後ハ當然日本軍ノ占領處理ニ歸スヘキモノニシテ前記工作ノ如キモ全ク日本側ニ對スル援助ノ範圍ヲ出ツルモノニ非

(欄外記入)

今日ノ勢ヲ以テ進メハ將來參戰ノコトハ避クヘカラサルニ至ルヘシト觀察セラレ同時ニ日本トシテハ差當リ支那ヲ待機セシムル爲ニハ彼等ヲ納得セシムル樣説明スルコト必要ニシテ之カ爲ニハ我方モ亦相當事實ニ依リテ今次ノ戰爭カ東亞解放戰ニシテ參戰ノ有無ニ拘ラス利害ヲ共同ニスルモノナルコトヲ示スコト必要ナリト思考ス何分ノ儀御回電ヲ請フ

北大、上海へ轉電セリ

(欄外記入)

東亞解放戰タルノ本質ニ反セサル樣實際上ノ遣方ニ付軍側ノ善處ヲ希望スル次第ナルカ參戰ハ困難ト認ム

サルコトハ勿論ナリ

(二)尙日本官憲ハ香港ノ人口ヲ廣東方面ヘ疎散セシメタキ内
意アルモ百萬ニ上ル華僑ノ宣撫及ヒ救助ハ事容易ナラス
省政府申出ノ通中央ニ於テモ相當協力スルコト可然シト
考慮シ居ル次第ナルカ此ノ際部長級ノ者ヲ派遣シ充分現
地日本軍當局ト連絡協議ノ上省政府側ニ協力シ同地華僑
ニ對シ必要ノ宣傳、慰撫、激勵等ニ當ラシメタク大體林
柏生^(伯ウ)チヨウソンガク陳君慧ヲ派遣(陳璧君モ個人的立場
ニテ之ニ參加シタキ希望ナリ)シタキ積リナルカ日本側
ニテ贊成ナラハ今週中ニテモ中央政治委員會會議ニ附議
シ決定手續ヲ取ルコトト致度ト申出テタリ
本件措置ハ極メテ時宜ニ適シタルモノト思考セラルルニ
付其ノ實現方總軍司令部及ヒ艦隊司令部側トモ聯絡協議
中ナリ右不取敢

80

昭和16年12月23日 在中国日高代理大使より
東郷外務大臣宛(電報)

上海での南京国民政府関係者中傷の取締りに
関する汪兆銘の内話について

第九五三號

汪主席ハ二十二日軍事委員會委員長ノ名義ヲ以テ調査統計
部長ニ對シ最近上海ニ於テ國民政府關係者及和平運動同志
ヲ中傷スル種々ノ謠言ヲ流布スル者アリ右ハ離間挑發ニ依
リ和平運動ヲ破壊セントスルモノニシテ大東亞戰爭展開ノ
今日放任シ難キニ付至急調査ノ上犯人ヲ捕縛シ嚴重處分ス
ヘシトノ命令ヲ發シタルカ同日汪主席カ本使ニ對シ内話ス
ル所ニ依レハ日本軍上海租界進駐後上海ニ於ケル國民政府
ノ評判兎角面白カラス其ノ中ニハ故意ニ無稽ノ言ヲ弄シ政
府ヲ誹謗スルモノモアル由ニテ之カ取締方軍事顧問ヨリ注
意アリタル次第モアリ右命令ヲ發スルニ至リタルモノノ由
上海ヘ轉電セリ

81

昭和16年12月23日 在北京土田参事官より
東郷外務大臣宛(電報)

南京国民政府参戦等に関する華北連絡部長官
の意向につき報告

南京 12月23日後発
本省 12月23日夜着

北京 12月23日午後発
本省 12月24日午前着

第八五三號（館長符號扱）

南大發貴大臣宛第九四七號ニ關シ

二十日北澤他用ヲ以テ鹽澤聯絡部長官ニ面會ノ節支那ノ參戰ニ關スル王揖唐ノ汪精衛宛勸告ニ付質シタルニ鹽澤ハ右勸告ハ政務委員會トシテ爲シタルニアラスシテ新民會トシテ爲シタルモノナリ尙先日東京興亞院ヨリ眞方政務第二課長來燕シタルカ其ノ話ニ依レハ中央ニ於テモ我方ニ於テ在支英米權益ノ接收ヲ完了シタル後ハ支那ヲシテ參戰セシムルモ差支無カルヘシトノ意見有力ナリトノコトナルカ自分

（欄外記入）

（鹽澤）トシテハ支那ヲシテ參戰セシムルトスルモ其ノ時期ニ付テハ慎重考慮ノ要アリ支那ノ參戰論ニハ參戰ニ依リテ自動的ニ分前ニ與カラントスルノ底意多分ニアリト認メラル尤モ日蘇關係急轉ノ場合ニハ支那ノ參戰ヲ有利トスル場合アルヘキモ其ノ場合ニモ單ニ分前ニ與カル爲ノ參戰ハ意味無く現在ヨリ支那側一般力眞ニ日本ト一心同體トナリテ戰フ様大勢ヲ誘導シ支那側ノ心構出來タル上ニ於テ參戰セシムルヲ可トスヘク何レニスルモ支那側ヲシテ英米權益回

收ヲ當然ノコトト思ハシムルハ不可ニシテ日本ノ力ニ依リテ回收スルモノナルコトヲ判然認識セシムル要アリト述ヘタルニ付北澤ハ支那側カ參戰ヲ希望スル動機ニ付テハ警戒ヲ要スヘク又支那ノ參戰ヲ認ムル場合ニハ滿洲國ノ參戰ヲモ認メサルヲ得サルコトナルヲ以テ日蘇關係急轉ノ場合ハ別トシテ對蘇關係ニ於テ慎重考慮ヲ要スルモノアルヘシ尤モ此ノ際支那ノ參戰ト否トニ拘ハラス支那側ヲ我方ニ抱込ムコト絶對ニ必要ナルハ申ス迄モ無く從ツテ我方ノ接收シタル在支英米權益ハ原則トシテ支那ニ返還スル方針ヲ明ニシ可能ナルモノヨリ漸次具體的ニ實行シ行クコト得策ナリト述ヘタルニ鹽澤ハ今日トナリテハ我々ノ視野ヲ大ニシテ大東亞全體ヲ對象トシテ見ルノ要アリ從ツテ在支英米權益ノ如キハ原則トシテ支那ニ返還スルノ方針ニ同意ナリト述ヘタル趣ナリ當方面ノ空氣一般參考迄

南總（外信）、上海へ轉電セリ

（欄外記入）

之ハオカシイ

82

昭和16年12月28日

在上海堀内総領事より
東郷外務大臣宛（電報）

上海における敵性工業財産の接収・処理状況
につき報告

付 記 昭和十七年一月十日付、東亜局第一課作成

「租界接収状況」

上海 12月28日後発
本省 12月28日夜着

第二四三一號

一、⁽¹⁾皇軍租界進駐ト共ニ上海地區ニ於ケル敵性工業ニ對シ應
急措置ヲ講スルコトナリ租界對策機關ニ於テハ非常對
策トシテ左ノ如キ方針ヲ決定セリ

イ、公有企業竝ニ私企業ニシテ軍事上必要トスル事業ハ
我方ニ於テ之ヲ管理ス

ロ、前項以外ノ一般工業ニ付テハ積極的ニ我方管理下ニ
移スコトナク現状ヲ認メ其ノ生産及配給ニ付適宜我方
ニ於テ統制ヲ加フルモノトス

但敵性アルモノノ所有工場及不在工場ハ總テ軍管理タ
ラシム

ハ、前掲措置ハ在敵國邦人財産ニ對スル敵國側ノ措置ニ
照應シ適宜其ノ寬嚴ヲ律スルモノトス

ニ、該方針ノ下ニ不取敢敵性工場ヲ處理スルコトナリ第一
次措置トシテ英米籍紡績工場ノ全部及冷凍卵工場ニ付一
部ヲ閉鎖セシムルコトニ決定セリ

右ハ我方ニ把握スルヲ要セサル工場ニシテ動力、原材料
及製品ノ「ストック」等ヨリ觀テ操業ヲ停止セシムル要
アリタルニ依ルモノナル處之カ實施要領左ノ通り

イ、閉鎖工場ハ其ノ經營者ニ於テ勞務者ヲ歸郷セシムル
モノトシテ歸郷ニ必要ナル旅費等ノ爲退職金ヲ一人當
リ最少限度五十元以上工場經營者ヲシテ支給セシムル
モノトス

ロ、右退職金ノ給與ハ歸郷ヲ條件トスルモノニテ上海周
邊ニ在住セス必ス歸郷スル如ク工部局、公董局及市政
府ヲシテ之カ徹底ヲ圖ラシムルモノトス

ハ、退職金支給事務監督ノ爲各工場ニ二名宛ノ邦人ヲ派
遣スルモノトシ右派遣邦人ノ保護ハ工部局、公董局及
市政府ニテ之ニ當ルモノトス

ニ、閉鎖工場ノ閉鎖後ニ於ケル管理ハ別ニ指示アル迄經

營者ノ責任ニテ之ヲ行フモノトス

ホ、閉鎖工場ノ保有スヘキ原料材料製品等ノ處理ニ付テハ別ニ之ヲ指示ス

三、右處理ニ先チ之ニ必要ナル基礎材料作成ノ爲租界對策機

關ハ我方機關、工部局、(ハ蓋セ)コर्टー局及特別市政府等話合

ノ下ニ各工場ニ付其ノ設備生産狀態及勞務狀況等ノ調査ヲ行ヒタルカ閉鎖工場ノ實際處理ハ明年早々實施スル筈

ナリ

南大ヘ轉電セリ

(付記)

租界接收狀況

(昭和十七年一月十日 亞、一)

一、英國租界

在支英國租界ニ對シテハ下令ト共ニ所要ノ兵力ヲ進駐シ我カ占領下ニ之ヲ把握スルモ機構ハ努メテ之ヲ利用シ運營ニ當ル主旨ヲ以ツテ措置セリ

(一)天津英國租界

天津英國租界ニ對シテハ客年十二月八日早朝進駐ヲ了セリ、英國租界參事會長工部局書記長工部局警務處長

以下租界關係英人職員ニ對シ其ノ儘職務ヲ執行スル樣交渉セルニ之ヲ快諾セリ

我方ニ於テハ工部局上層部ニ政務局ヲ設ケ局長ニハ現地師團參謀長就任シ工部局ノ行政一般ヲ指導監督シ又工部局ニ日本人最高顧問ヲ設ケ天津民團助役ヲ之ニ充ツルト共ニ工部局警務部最高顧問ニハ憲兵隊特高課長ヲ現職ノ儘之ニ任シ指導ニ當リ居レリ

其ノ後我方租界對策ノ陣容モ整備シ事態モ平靜ニ歸シタルニ付キ工部局警務部長以下英國人警察職員十名及波蘭人警察職員一名ハ支那人巡補統禦ノ見地ヨリ此ノ上雇傭シ置ク必要ヲ認メサルニ至リタルヲ以ツテ客年十二月末解職セリ

(二)廣東英國租界

客年十二月八日廣東沙面英國租界ニ進駐之ヲ軍政下ニ置ケリ、特務機關ニ於テ十二月十六日民政署ヲ設立セシメ目下民政實施ノ準備中ナリ

二、上海共同租界及北京公使館區域ニ對シテハ下令ト共ニ兵力ヲ進駐セシメタルモ右進駐ニ當リテハ所要ノ限度ヲ越ユルコト無ク努メテ靜謐ヲ旨トシ能フ限り混亂動搖ヲ生

セシメサル様措置スルト共ニ帝國領導下ニ努メテ現有機構施設人員竝ニ支那側等ノ各種機關ヲ利用シテ諸般ノ圓滑ナル運營ヲ續行セシムル方針ニテ施策セリ廈門鼓浪嶼共同租界ニ付テハ右ニ準シテ措置セリ

(一) 上海共同租界

客年十二月八日午前七時半堀内總領事陸海軍參謀ト共ニ上海共同租界工部局幹部ヲ訪問シ會談セル結果平常通り執務スル旨約セシメタリ又工部局ハ日本側申入ノ次第モアリ現狀通り機能繼續スルコトナリタルヲ以ツテ一般市民ニ協力方要求スル旨「ラデオ」放送ヲスルコトヲ約セリ

同日午前十一時陸海軍部隊共同租界内進駐ヲ開始セリ同日午後四時開催セラレタル臨時市參事會ニ於テ「リデル」「マクレン」「兩參事會員ハ共ニ日本側ニ協調ノ意嚮ヲ述ヘ萬場一致ヲ以ツテ租界安寧ノ爲工部局ノ平常ノ機能ヲ維持スヘキコトヲ決議シ前約ニ基ツキ「ラデオ」放送セリ戰爭勃發以來現地關係機關（陸海外興）ハ密接ナル連絡ノ下ニ共同租界ノ圓滑ナル運營ヲ指導シ來タレル爲共同租界ノ機能ハ平穩ニ發揮セラレ居リ

別ニ何等ノ動搖ノ兆ヲモ認メラレサリシヲ以ツテ敵性國家ノ市參事會員殘留ノ必要解消セルモノト認メ本月七日「リデル」以下四名ノ殘留英米蘭人參事會員ヲ辭任セシメ岡崎參事官袁履登夫々議長及副議長ニ就任セリ、職員ハ目下ノ所變更セシムル意圖無キヲ以テ引繼キ勤務セシムル筈ナリ

(二) 北京公使館區域

客年十二月八日午前八時土田參事官ヨリ各國代表ニ對シ文書ヲ以ツテ日本軍ハ公使館區域ニ於ケル敵性武力ヲ一掃スル爲竝ニ一時的ニ同區域ノ治安ヲ維持スル爲必要ノ措置ヲ執ルヘキ旨申入レ了解ヲ得タリ

同日午前八時三十分北京方面軍參謀ハ司令官ノ命ニ依リ米國護衛隊長ヲ訪問シ武裝解除方要求シタルニ米國側ハ之ニ同意セリ依ツテ同日午後一時武裝解除ニ着手シ同五時無事完了セリ

又公使館區域行政組織ヲ新事態ニ即應シ變更ヲ加フ可ク八日我方行政委員ヨリ主席大使タル白耳義大使（當^前）時中立國タリシモノニ對シ從來英大使館代表ノ遂行シ來レル公使館區域行政委員長ノ職ヲ我方ニ於テ代行

スヘキ旨竝ニ英米人行政委員ノ職務ヲ停止セシメ英國側ニ於テ保管中ノ同委員會ニ關スル書類ハ日本人職員ニ於テ保管スヘキ旨申入レルト共ニ對米及對英宣戰布告ノ結果一九〇一年最終議定書ニ基ク米英ノ公使館區域ニ對スル權利ハ認ムルヲ得サル旨最終議定書調印國ニ傳達方依頼セリ、其ノ後白耳義國ハ我國ニ對シ國交斷絶ヲ通告シ來レルヲ以ツテ十二月二十一日白耳義大使ニ對シ主席大使タル地位ヲ認メサル旨通告セリ、二十三日豫定通り行政委員會開催サレ(一)米英行政委員ハ辭職ヲ肯セサルニ付之ヲ除キタル他ノ三名ニテ差當リ委員會ヲ構成スルコト(二)我方北澤書記官委員長ニ就任スルコト等ヲ決定スルト共ニ佛國大使ヲ首席大使トシテ執務セシムルトノ我方見解ヲ披瀝セリ

(三)鼓浪嶼共同租界

鼓浪嶼共同租界ニ對シテハ十二月八日午前四時進駐セルカ右ニ際シ石川總領事ヨリ租界當局ニ對シ治安維持ノ爲警備兵ヲ派遣シテ敵國人及敵國公私有財産ニ對シ必要ナル措置ヲ執ル旨通告セリ租界行政機構ニ關シテハ英米蘭ノ參事會員ヲ廢シ新ニ支那側ヨリ二名ヲ選ヒ

日本人參事會員ヲ議長トセルコト及白系露人警視總監ヲ罷免シ日本人ヲ後任トセル外變更ヲ加ヘタルコトナシ會審公堂ノ國民政府ニヨル接收ヲ了シ重慶側裁判官ヲ抑留シ高等法院檢察官揚廷權之カ後任トナレリ石川總領事ハ十二月八日附ヲ以ツテ首席領事ニ就任スルト共ニ軍及興亞院ト協議ノ上租界指導ニ當リ居レリ



昭和17年1月20日 大本營政府連絡會議決定

「在支接收敵性權益ト國民政府トノ調整ニ關スル件」

● 在支接收敵性權益ト國民政府トノ調整ニ關スル件
大東亞戰爭ニ伴ヒ支那ニ於テ接收セル敵性權益ト國民政府トノ調整ハ左記ニ據ル

一、天津英租界及廣東英租界ノ行政ハ之ヲ國民政府ニ移管ス其時機ハ別ニ定ム
二、敵國系文化施設(學校、教會、病院等)ニシテ我方ニ必要ナキモノ竝ニ上海共同租界ノ特區法院及重慶系文化施設等ハ之ヲ國民政府ニ移管ス

一 開戦直後の対中関係（租界接収を含む）

三、上海共同租界及接收敵性權益ノ運営ニ當リテハ我方ノ施策ニ支障ナキ限リ支那側ヲシテ積極的ニ參加協力セシムル如ク施策ス

四、前記各項ノ實行ニ當リテハ努メテ其ノ政治的效果ヲ大ナラシムル如ク措置スルモノトシ特ニ國民政府ヲシテ徒ラニ權益回收ニ趨ラシムルコトナク帝國ノ戰爭完遂ニ欣然協力セシムル如ク指導ス

